

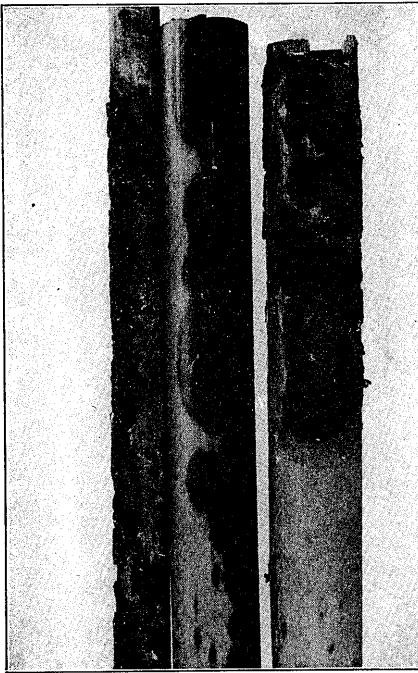
植物趣味鼓吹ノ爲ニ努力スルノデアアルガ、更ニ今年カラハ特ニ植物ニ關シテ我邦諸州郷土ノ事實記事ヲ載セテ見タイト希望スル、幸ニ筆ヲ執ツテ下サル方ガアレバソレヲ本誌ニ收録スルコトニスル、前卷ニ掲ゲタ前原勘次郎君ノ「いちむがしノ實カラ製シタ珍食品」並ニ「ほていちくカラ干筍ヲ造ル方法」ノ如キハ即チ其一例ヲ示シタモノデアアル、記事サハ正確ナルモノデアレバ其文章ノ長短巧拙ハ敢テ論ズルマデモナク又其筆者ハ學生デアラウガ相當ノ地位ノ人デアラウガ又肩書ガ有ラウガ無カラウガソレナ事ハ一切我等ノ問フ所デハナク老若男女ドンナ御方ノ原稿デモ之レヲ歡迎スル、文章ハ幾ラまざくテモソレナ場合ニハ私ノ方デ何トデモ潤飾ガ出來ルカラ其邊ノ心配ハ無用デアアル又其レニ圖畫ナリ寫真ナリガ添ヘラレテアレバ尙更ラ結構至極デアアル、斯クシテ隱レタ郷土ノ事實ヲ世ニ顯ハシ以テ斯學ノ參考資料ニ供シタイノデアアル、想フニ諸州ノ郷土ニハ實ニマダ澤山ナ種々ノ事實ガ秘メラレテ居ルデアラウ

○蓄軒獨語 (其十二)

蓄軒 朝比奈泰彦

○臺灣ノ虎斑竹菌

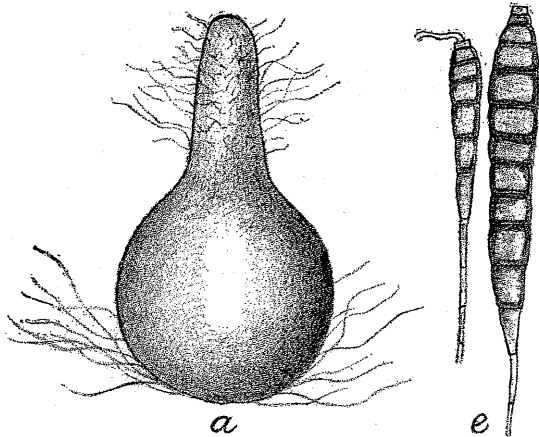
大正十五年十一月下旬、在臺灣屏東ノ友人山口藍君カラ一封ノ小包郵便ガ届イタノデ之ヲ開クト菌體ヲ被レル虎斑竹程ガ十本出タ、諸君モ御承知ノ如ク内地産ノ虎斑竹菌ニ關シテハ理學博士川村清一君ノ研究ガアリ其詳細ナル記事ハ理科大學東京紀要第二十三卷第二號ニ獨逸文デ出テ居ルシ又其拔萃ハ植物學雜誌第二百五十號(明治四十年十一月發行)ニ載セテアル、ソレニヨルト川村君ハ此菌ノ爲ニ Miyoshia ト云フ新屬ヲ設定シ Miyoshia fusispora KAWAMURA. ト命名シタ、又同君ニヨルト此菌ハ吾内地ニ於テハ美作、日向ノ二國ニノミ産スル



ソウダ殊ニ美作國真庭郡三坂村ノモノハ先頃天然記念物ニ指定サレ採集家ニ對シテハ禁斷ノ果物トナツタ
 予ハ此ノ珍物ヲ檢スルノ機會ヲ與ヘラレタル山口君ニ感謝シツ、暇アルゴトニ此菌ヲ調べテ見タ、此菌ノ宿主
 タル竹ハ緒方正資君ノ說ニヨリテせきかくちく Bambusa Shinadai Hay. デアルコトガ分ツタ、竹稈ノ表面ニ
 菌ガ寄生シテ居ル部分ハ汚ナキ煤烟褐色又ハ黒色ノ薄キ皮膜ガ密着シテ居ル、コレハ容易ニ搔キ取ルコトガ出
 來、其跡ヲ磨クト斑紋ヲ現ハスノデアアル、此膜ハ竹稈ノ面ニ沿フテ不規則ナル圓形又ハ橢圓形ヲ呈シ單獨又ハ
 連絡シテ居ル、之レヲ鏡檢スルト互ニ平行ニ又ハ多少交錯シテ密着セル黒褐色ノ菌絲(徑三—四 μ)ノ薄層ヨ
 リナツテ居ル、此ノ平坦ナル面ヨリ直角ニ煤烟黒色ノ多少縮レタ菌絲ガ叢生シ高サ約一「ミリメートル」ノ菌
 褥ヲ構成シ其中ニ「フラスコ」形ノ眞黒ノ被子器ガ直立シテ居ル、此子器ハ上記ノ菌膜ノ表面ニ座シ毛氈狀ノ
 菌絲ニヨリテ密ニ取圍マレテ居ル、之ヲ引放

シテ檢スルト子殻ハ殆ンド球形ヲナシ脆クシ
 テ破壊シ易ク其頂部ハ延長シテ嚙トナリ所謂
 「フラスコ」形トナツテ居ル、全長〇・八「ミ
 リ」幅〇・五「ミリ」ニ達スル、其表面ハ底
 部ト嚙部トニ殊ニ多ク毛茸ヲ生ジテ居ル、之
 ノ着磨キ
 産ノハ
 灣ノ稈
 臺ノ稈
 (左右ノ中央)

鏡檢スルト絲狀體(Paraphyses)ハ甚ダ細ク多
 數ノ油滴ヲ交ヘ子囊(Asc)ハ多少弧曲セル圓
 筒狀ヲナシ頂端ハ被膜厚化シ鍵ノ孔ノ如キモ
 ノアリ、子囊ノ大サハ三〇—五〇〇 μ ニ達

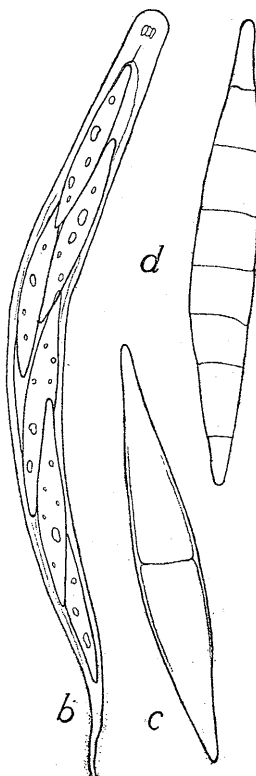


臺灣產虎斑竹菌

Ceratospheeria sp.

- a 被子器(菌嚢ヲ除キタルモノ)(擴大)
- b 若キ孢子ヲ容レタル子囊(擴大)
- c 一隔ヲ有スル孢子(擴大)
- d 七隔ヲ有スル孢子(擴大)
- e 分生孢子(擴大)

(雷軒原圖)

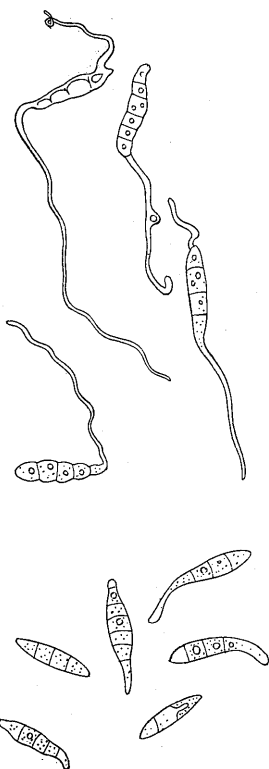


シ内部ニ紡錘狀ノ八子ヲ容レテ居ル、此孢子ハ初メハ無色單房デ大サ 60—100×15 μ ニ及ビ其原形質中ニハ往々空胞(Vacuole)ヲ見ル、老熟スルニ從テ先ヅ中央ニ一隔ヲ生ジ次デ上下ノ各房復タ一隔宛ヲ生ジ更ニ各房一隔ヲ生ジテ終ニ八房トナリ大サ130×15 μ ニ至リ皮膜モ多少薄墨色又ハ褐色ヲ呈スルニ至ル、又菌嚢ノ外圍ノ菌絲ヲ搔キトリ鏡檢スレバ菌絲ト同ジク黒褐色ヲ呈スル分生孢子(Conidia)ヲ見ルノデアアル其形棍棒狀デ多ク

ノ隔壁ヲ有シ幅 30—25 μヲ算シ長サハ其五—六倍又ハ七—八倍ニ達シ漸次細マリテ菌絲ト同幅ノ柄ニ移ツテ居ル

以上ノ記載ヲ基礎トシテ此菌ノ分類上ノ位置ヲ索メルト球果菌類 Sphaeriales 中ノ球果菌科 Sphaeriaceae ニ近イケレドモ被子器ガ嘴ヲ有スル關係上セラトストーマ科 Ceratostomataceae ニ屬スルモノナルベク次ニ其科ノ中デハ孢子ノ形狀ニヨリセラトスフェリア Ceratospaeria 屬ニ最モ近ク恐ラク此菌ハ Ceratospaeria sp. デアロウ

ソコデ此菌ガ内地産ノ虎斑竹菌ト同一デアアルカ否カト云フ問題ニナルガ大體ニ於テ此臺灣産ノモノハ非常ニ内地産ニ近イノデアルト思フ、唯記載ノ上デ根本的ニ差違アリト認メナケレバナラヌ點ハ内地産ノ方デハ子嚢孢子ガ無色單房デアアルニ對シ臺灣産ノモノハ初メハ同様デアアルガ後ニ至リ追々ト隔膜ヲ生ジ終ニ八房ヲ有スルニ至リ且褐色ヲ帶ブル様ニナルコトデアアル、然ルニ茲ニ一ツ注意スベキコトハ理科大學紀要ノ川村君ノ報文中第三圖版 Fig. 6 及 Fig. 7 ニ子嚢孢子ノ發芽狀態ガ畫イテアルガ三ツ或ハツレ以上ノ隔壁ヲ持ツタモノガ明ニ在



號二第卷三第圖版六
Fig. 6 虎斑竹菌
川村君ノ報文中第三圖版ニ轉寫セルモノガ明ニ在ルガ然シ本文ニハ此件ニツキテハ少シモ歌ツテナイノデ此孢子ハ發芽ノ前提トシテ或ハ發芽ト同時ニ隔壁ヲ生ズルモノト解スベキカ、何レニシテモ此問題ヲ明カニ解決スルニハ兩方ノ標本ヲ丁寧ニ比較シテ研究スル必要ガアロウト思フ